

第205回特別例会「『天野酒』醸造元を見学 校友の蔵主が懇切に案内」

経済人クラブ(栗原照次郎会長)第205回特別例会は、2月7日、来賓に当クラブ名誉顧問の畑下辰典、森本靖一郎の両氏と、顧問の寺内俊太郎校友会長を迎え、38人が出席して開催された。

10時半、西梅田を貸切バスで出発。まず、大阪府下では唯一の重要伝統的建造物群保存地区である富田林市・寺内町を訪ね、情緒ある街並みの風情を楽しみながら散策した。

昼食は、瀧谷不動明王寺前の料亭・門前屋で、自慢の懐石料理をゆっくりと歓談しながら賞味し、午後はメインの酒蔵見学に向った。

「天野酒」醸造元の西條合資会社では、校友の第10代蔵主・西條陽三氏の懇切な案内で、日本酒ができるまでの工程を、順次説明を受けながら見学した。酒米の自家精米へのこだわりから、発酵タンクの覗き見、大吟醸や純米などお酒の違い、良い酒粕の見分け方など、購入時のヒントまで詳しく説明を受け、最後はお楽しみのお酒を味わった。帰る際には、日本酒などのお土産もご用意頂き、至れり尽くせりの見学となった。



(若手会幹事 植松康太)



TOPICS

経済人クラブ 春のゴルフコンペ



平成25年3月27日(水)、経済人クラブ春のゴルフコンペが大正12年設立の名門「茨木カンツリー倶楽部」で開催され、16名の参加者が熱戦を繰り広げました。

当日は、桜のつぼみがほころびはじめ、寒さの中に春の気配を感じるなかでの開催となりました。参加者は、戦略的に設計された名門コースに悪戦苦闘しながらも、和気藹々とプレーを楽しみました。

その後、ゴルフ部会の大倉幾三郎氏の進行で表彰式が行われました。栄えある優勝は宮平浩示氏、ベストスコアは79という驚異のスコアを叩き出した大川高史氏という結果に終わりました。

幅広い年代の会員が参加したうえで交流を深め、楽しく盛り上がることでできる大変実りあるゴルフコンペとなりました。

(植松康太・平17法)

経済人クラブ 秋のゴルフコンペ

経済人クラブ(栗原照次郎会長)秋のゴルフコンペが、名門茨木カンツリー倶楽部西コースで10月10日に12名で開催された。

当日は晴天で絶好のコンディションであったが、1週間前にはプロツアーのパナソニックオープンが開催されたコースで、深いラフ、アンジュレーションの効いた高速グリーン、絶妙な位置に設置されたハザード、難しいピンポジションに参加者の多くが苦しめられた。

優勝は大倉幾三郎氏、2位は福本永成氏、3位は村上康司であった。その後ゴルフ部会会長の大倉幾三郎氏の進行で表彰式が行われ、参加者はゴルフを通じて交流を図り楽しいゴルフコンペになった。

(副代表幹事 村上康司)



経済人クラブ年間スケジュール

	2015年												2016年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
通常総会			15日													
定例例会			15日													
役員会		11日														
特別例会																
若手会		19日														
運営委員			15日													
ゴルフ部会																
その他	5日	18/22														

行事予定

◆第206回例会  
日時：平成27年6月15日(月) 18:00～  
場所：大阪新阪急ホテル

◆若手会 第1回勉強会  
日時：平成27年5月19日(火) 19:30～  
場所：未定

KANSAI UNIVERSITY

KEIZAIJIN CLUB News

2015年 春

*It started aiming to attempt cultivating friendship in November, 1963*

- 第199回例会
- 第201回例会
- 第202回例会
- 第203回例会

- 第204回例会
- 第205回特別例会
- 春のゴルフコンペ
- 秋のゴルフコンペ



第204回例会  
「中小企業の『存続と発展』を実現させるM&Aとは？」  
(関連記事 中面参照)

KANSAI UNIVERSITY  
関西大学経済人クラブ  
http://ku-keizaijinclub.jp/

KANSAI Univ. Keizaijin Club 2015年 春号 発行日：2015年5月1日(年2回発行) 発行：関西大学経済人クラブ 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館 関西大学校友会事務局 気付 電話：06-6368-0041(直)

## 役員一覧

### 名誉顧問

- 一軸 浩幸 (昭和33年法学部法律学科卒) 関西大学校友会前会長
- 上原 洋允 (昭和32年法学部法律学科卒) 学校法人関西大学 前理事長
- 畑下 辰典 (昭和27年経済学部卒) 関西大学校友会元会長
- 森本 靖一郎 (昭和32年法学部法律学科卒) 学校法人関西大学 理事・相談役 元理事長

### 名誉会長

- 池内 啓三 (昭和40年文学部新聞学科卒) 学校法人関西大学 理事長

### 名誉副会長

- 楠見 晴重 (昭和55年大学院工学研究科 土木工学 修了) 関西大学 学長

### 顧問

- 寺内 俊太郎 (昭和46年大学院工学研究科 (金属工学・博士)修了) 関西大学校友会会長

### 相談役

- 天野 正 (昭和17年商学部商業学科卒)
- 稲田 昌三 (昭和34年文学部新聞学科卒)
- 田合 邦臣 (昭和37年商学部卒)
- 西村 太一 (昭和31年法学部法律学科卒)
- 樋口 学 (昭和25年法学部法律学科卒)

### 会長

- 栗原 照次郎 (昭和35年商学部卒) 株式会社栗原製作所 代表取締役

### 副会長

- 生田 圭一 (昭和43年経済学部卒) 株式会社大松 代表取締役社長
- 志水 利達 (昭和43年商学部卒) 株式会社東光商会 代表取締役

### 代表幹事

- 本間 敏司 (昭和61年工学部土卒)

### 副代表幹事

- 永尾 俊一 (昭和61年法学部卒)
- 仁井 ひろみ (昭和48年法学部卒)
- 村上 康司 (平成6年法学部卒)

### 会計監査

- 大倉 幾三郎 (昭和39年経済学部卒)
- 紀和 隆 (昭和39年工学部機械工学科)

### 幹事

- 秋葉 明 (昭和49年法学部法律学科卒)
- 市田 利夫 (昭和45年法学部法律学科卒)
- 伊藤 晃充 (昭和41年文学部新聞学科卒)
- 入江 一美 (昭和32年経済学部卒)
- 大川 高史 (昭和57年商学部卒)
- 岡田 誠一 (昭和34年商学部卒)
- 岡田 徹 (昭和42年商学部卒)
- 加藤 拓 (昭和40年工学部電気工学科卒)
- 小林 知義 (昭和47年文学部卒)
- 田中 義信 (昭和50年法学部卒)
- 谷 康司 (昭和50年法学部卒)
- 中井 清貴 (昭和49年法学部法律学科卒)
- 中井 邦夫 (昭和45年法学部卒)
- 長谷川 真理 (昭和59年文学部史学科卒)
- 伏見 義仁 (平成7年工学部機械工学科卒)
- 藤原 輝之 (昭和59年法学部卒)
- 八木 正 (昭和38年商学部卒)
- 藪内 正明 (昭和35年法学部法律学科卒)
- 横田 英哲 (平成4年文学部卒)

### 若手会幹事代表

- 吉見 淳史 (平成8年工学部生物工学科)

### 若手会幹事

- 植松 康太 (平成17年法学部卒)
- 楠 隆夫 (平成9年工学部建築学科卒)

## 第199回例会だより 「欧州債務危機の真相と日本への影響」

関西大学経済人クラブ(会長 西村太一)第199回例会は平成25年6月24日(月)午後6時より、大阪・梅田 大阪新阪急ホテル・2階「星の間」にて、村上康司氏(副代表幹事 H6学法)の司会にて、来賓に当クラブ名誉顧問一軸浩幸様、畑下辰典様、森本靖一郎様、寺内俊太郎様のご臨席をえて開催された。

副会長の栗原照次郎氏(S35学商)の開会挨拶ののち、総会が開催され、安達弘祐氏(会計監査 S37学経)による会計報告が承認され、新役員選任が満場一致で承認された。

会長には、栗原照次郎氏、副会長には生田圭一氏(S43学経)、志水利達氏(S43学商)、代表幹事には、本間敏司氏(S61学工土)が就任した。

その後の講演では、講師に関西大学商学部長・教授高屋定美先生をお迎えして、「欧州債務危機の真相と日本への影響」と題して、ご講演いただいた。

主たる要旨は、1. ユーロの経済状況、2. EUの救済策、3. EUの制度改変の取り組みであったが、日本とのかかわり、日本との比較をふまえて、わかり易く具体的にお話いただいた。特に、昨今ギリシャなどユーロ圏の経済危機が話題となっていたが、日本の経済状況はこれらと比較しても悪い状況にあるとの内容には衝撃を受けた。また、日本とユーロ圏の微妙な関係の裏側までお話いただいたことで、出席者全員が興味をもつことのできる有意義な講演となった。

講演後は、新たに副会長に就任した生田圭一氏の御礼の言葉ののち、懇親会は、森本名誉顧問の挨拶に始まり、寺内名誉顧問の乾杯の音頭にて開催された。

懇親会では、新たに就任した役員の紹介が行われるとともに、役員を退任された安達弘祐氏より挨拶を頂いた。その後、新入会の小川哲男氏(S48学法)(株)小川不動産鑑定事務所代表取締役が紹介されるとともに、楠見晴重学長からの祝電が披露された。メンバー和気藹藹の懇談の中、新たに副会長に就任した志水利達氏(S43学商)の閉会の挨拶にてお開きとなった。(若手会幹事 植松康太)



## 第201回例会「北朝鮮情勢の現状と今後」 ～最高人民会議代議員選挙の意味するもの～

関西大学経済人クラブ(会長 栗原照次郎)第201回例会は平成26年2月17日(月)午後6時よりホテル阪急インターナショナル6階「瑞鳥南の間」にて、本間 敏司氏(代表幹事)の司会にて、来賓に学校法人関西大学理事長 池内 啓三様、当クラブ名誉顧問 一軸 浩幸様、畑下 辰典様及び当クラブ顧問・校友会会長 寺内 俊太郎様のご臨席をえて開催されました。

会長の栗原 照次郎氏(S35学商)の開会の挨拶にて始まり、講師には関西大学経済学部教授・副学部長 李 英和先生をお迎えして「北朝鮮情勢の現状と今後～最高人民会議代議員選挙の意味するもの～」と題して、ご講演頂きました。

主たる内容は  
1. 北朝鮮の今後について 2,3年後に北朝鮮は崩壊し韓国に吸収されるであろう。また、南北が統一されると経済復興は韓国だけでは間に合わず、日本の企業(特に製造業)にすぐてくる事になり、特需が起こるであろうと思われる。  
2. 北朝鮮の外交について 北朝鮮と中国の関係は悪化しており、日本と秘密裏に交渉を進めている。韓国との関係を軟化させているのも、対中国(北方)に緊張があるため南側を安定させるため。  
3. 北朝鮮の財政について 中国に秘密資金を凍結されており、財政が逼迫している。例年幹部に配られていたベンツが今年は中国産の車に代わった。幹部に配る車やお金が無い事もあり、軍部との関係が悪化してきている。

これら、テレビではなかなか聞けない事や私達がマスコミを通じて知っている情報とはまるで違う話を、とても分かりやすく、また詳細にお話いただきました。その後の懇親会は来賓のご紹介の後、池内理事長にオリンピックの事や大学入学や就職の現状についてお話いただき、寺内校友会会長の乾杯の音頭で始まり、途中で、初参加の方からの自己紹介や交流でおおいに盛り上がり、志水利達(S43学商)副会長の挨拶にて終了しました。(経済人クラブ 若手会幹事 楠 隆夫(平9工))



## 第202回例会「浅田真央と共にソチ冬季オリンピックを戦って」 ～フィギュアスケート暦60年を振り返りながら～

関西大学経済人クラブ(栗原照次郎会長)第202回例会が、6月16日に大阪新阪急ホテルで開催され、池内啓三理事長、寺内俊太郎校友会会長、一軸浩幸・上原洋允・畑下辰典・森本靖一郎当クラブ名誉顧問らの来賓と、新入会員8人、特別参加者を含め89人が出席した。26年度第1回例会のため、最初に総会を開催。25年度事業報告、収支決算報告、規約改正が満場一致で承認された。

講演に移り、本学OBで、フィギュアスケート選手として1960年、64年の冬季オリンピック出場、全日本選手権10連覇の偉業を持ち、最近では浅田真央選手のコーチとして脚光を浴びておられる佐藤信夫氏に、「浅田真央と共にソチ冬季オリンピックを戦って～フィギュアスケート暦60年を振り返りながら～」というテーマでご講演いただいた。

佐藤氏は、フィギュアスケートの歴史から話を始め、選手時代のエピソード、引退後のコーチとして人を育てる方法、オリンピック・世界選手権など世界で活躍する選手の育成方法、最後にソチ冬季五輪での浅田選手のショートプログラムとフリーでの復活についてのエピソード等話をされた。

その後、講師を囲んでの懇親会では、来賓挨拶、新入会員紹介など各種の交流が行われた。現在会員数は129人、第203回例会は9月6日に、第204回例会は11月10日に開催を予定している。



(代表幹事 本間敏司・昭61工)



## 第203回例会「関西大学の就職状況について」

関西大学経済人クラブ(栗原照次郎会長)第203回例会が、9月8日に大阪新阪急ホテルで開催され、池内啓三理事長、寺内俊太郎校友会会長、一軸浩幸・上原洋允当クラブ名誉顧問の来賓の方々と、新入会員5人、特別参加者を含め43人が出席した。

第1部講演では、本学商学部教授でキャリアセンター所長をお務めの宇恵勝也先生を講師にお招きし『関西大学の就職状況について』というテーマで講演いただいた。

先生からは、25年度の学生の就職状況と、最近の学生の就職志向や就職に対する考え方、また企業の採用動向及び求める人材(学生像)等のご紹介と昨今のアベノミクスによる就職状況の変化についてお話があった。

また、キャリアセンターの活動について、入学時から卒業に至るまで多様なキャリア・就職支援プログラムを用意し、学生の支援に取り組んでいることの説明もいただいた。

第2部懇親会は、来賓挨拶、乾杯、新入会員紹介などの各種交流で盛りあがった。なお、例会の様子はホームページにも掲載していますので、ご覧ください。



(代表幹事 本間敏司=61工)



## 第204回例会「中小企業の「存続と発展」を実現させるM&Aとは？」

関西大学経済人クラブ(栗原照次郎会長)第204回例会が11月10日(月)大阪新阪急ホテルで開催され、上原洋允・森本靖一郎当クラブ名誉顧問の来賓の方々と、新入会員5名、特別参加者を含め51名が出席した。

第1部のご講演には、株式会社日本M&Aセンター 常務取締役 西日本管轄 大阪支社長 大槻昌彦氏を講師にお招きし『中小企業の「存続と発展」を実現させるM&Aとは?』というテーマでご講演いただきました。

ご講演内容としては、今までの事業継承の選択肢(1.上場・2後継者への継承・3.廃業(清算))に加えて、新しく4.第三者への事業継承(M&A)手法のメリット・デメリットのわかりやすい解説と、今後人口減少による日本国内のマ-ケット(内需)の縮小によるという現実が迫っている中での、経営者の世代交代と事業後継者問題として、1.少子化により子どもがいない、2.多様な職業があり子どもが後を

継がない、3.厳しい経済環境及び場合により創業者以上の能力が必要とされ子どもが後を継げない等の問題が今後身近に起こっていることの解説をしていただきました。また、最後にM&A成功事例紹介と それぞれ譲受企業と譲渡企業が存在しそれぞれ注意しなければならないことの心構えと、「お互いの企業の理念と理念の合致がM&A成功の秘訣」との事を勉強させていただきました。

その後、第2部懇親会は来賓ご挨拶、乾杯、新入会員紹介等各種交流で盛り上がり、最後は副会長の閉会挨拶で終了しました。(代表幹事 本間敏司・昭61工)

